

### 農業委員会各部会の活動状況

#### 農地調整部会

今年度の農業委員会農地調整部会活動も例年同様に、遊休農地（耕作放棄地）の解消と違反転用の防止への取組みを基本方針としました。いずれも難題で、なかなか有効策の見出せないのが現状です。

「農地パトロール」や「現地視察」等農業委員全体で実施し、現況把握に努めてました。

中山間地での猿害と平場地においても有効作物の選定等の課題もあり、また依然として求められる米の生産調整下では、なおさら解決の難題さを痛感しております。

しかし、今後とも国民の命の元である農地の有効活用がさらに重要となることと認識を深め、皆々様方のお知恵を拝借しつつ、解決策を模索して参りたいと願っております。

（部会長 齋藤啓一委員）



猿害対策等、遊休農地活用  
（ニンニク栽培）川東地区

#### 農政推進部会

TPP問題等農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

この現状下で、「新発田地域農業のあり方、地域における政策」を基本に担い手農業者、行政、農協関係団体との連携した活動を重点に、以下の事業を行っています。

○委員の研修及び視察研修の企画、立案  
「人・農地プラン」について行政担当を招き講習していただきました。また、11月には仙台・石巻方面へ一泊で県外視察研修を行い、被災状況や力強く復興された農業生産法人を視察させていただきました。感動し逆に励まされました。

○農業者等（担い手）との懇談会の開催  
3回目となる今回は未来の農業に夢を燃やす青年農業士との意見交換会を計画しました。熱い刺激を受けたいと思います。

○農業者年金加入推進及び研修会の開催  
良い年金制度を一人でも多く理解し、加入を勧めたいと思います。

また、加入推進にあたり県農業会議より担当者を招き年金制度の研修会を実施しております。

（部会長 鹿島芳夫委員）

#### 情報活動部会

広報「さわやか」を10人の部会委員で協力しながら編集作業に取り組んでいます。担当部門を決め、直接現場の聞き取りや市内、各地域の話題性のあるものを記事にまとめ、年2回（2月号、8月号）発行しています。

特集として最新の農業情勢や市内の頑張っておられる農業者等を紹介させていただいております。

今年、「人・農地プラン」の制度の内容を市の担当者からお聞きし、素朴な疑問Q&Aと題し皆さんに解りやすいようお知らせさせています。

今回は、その制度に取り組んでいる集落等を紹介し、これから取り組む方々の参考になるのではないかと考えています。他に全国農業新聞の普及活動として、購読推進にも積極的に携わっています。また、年3〜4回記事の投稿があり、新発田市の様子を紹介しています。

「さわやか」も今年で30回目の発行で歴史のある広報紙となりました。広報紙のプロ!?になるため、新潟市で開催された編集研修会に参加し、部会委員一同先輩に負けじと、より良い物を作ろうと張り切っています。ぜひとも多くの方々にご覧いただければ幸いです。

（部会長 五十嵐隆夫委員）



広報のプロ!?になるための研修会(新潟市)

## 待ってうれしい花いちもんめ

### 「四季の歌」春せん」

先般、民放のローカル局開局45周年記念コンサートを隣町に聴きに行ってきました。

手作りコンサートで、テーマは「ふるさと新潟の童謡」でした。誰でも知っている歌、作詞家や作曲家など本県生まれや関係のある人の曲で、少年少女合唱隊、ママさんコーラス、市内の高校生の合唱部が参加していました。プロの出演は市内在住や本県生まれの声楽家の方で、メインはミリオンセラー「四季の歌」で知られる芹洋子さんでありました。

本人の自己紹介で、「交通事故に遭って記憶喪失になり、自分の持ち歌も失われてしまった。」ですから、「四季の歌も新曲なんですよ。」と話されていました。本人の努力と周囲の暖かい援助と協力で、ここまで立ち直った事は立派だと思いました。

ステージはロシア民謡、アメリカ民謡あり、春夏秋冬、花鳥風月、自然を題材とした叙情歌で聴衆を引きつけ、最後は「お正月」を全員で合唱し幕となりました。

帰りは芹さんのサイン会、私も色紙に「サイン」をもらってしっかり握手をしました。同世代のためか、まだまだ頑張ろうという、エールの交換、元気をやり取りしたような握手の気がしました。

（宮下要一 部委員）

## 待ってうれしい花いちもんめ